

証券コード 3201

2016年1月14日

2015年11月期
(2014年12月1日～2015年11月30日)

ニッケグループ決算説明資料

連結業績は、売上高102,854百万円、営業利益7,342百万円、
経常利益7,799百万円、当期純利益4,690百万円となりました。

ニッケグループスローガン
“ 声 ” を明日につなげる

I. 2015年11月期(第185期)実績及び 2016年11月期(第186期)予想

1. 2015年11月期(第185期)連結業績の概要

2015年11月期(第185期)の連結業績は増収増益(6期連続)

	第183期 (13.11実績) (百万円)	第184期 (14.11実績) (百万円)	第185期 (15.11実績) (百万円)	前期比		通期予想 対比(%)	中期計画 対比(%)
				(百万円)	増減(%)		
売上高	97,677	100,477	102,854	2,377	2.4%	99.9%	102.9%
営業利益	5,596	6,028	7,342	1,313	21.8%	104.9%	104.9%
(営業利益率)	5.7%	6.0%	7.1%	1.1%	—	—	—
経常利益	6,023	6,635	7,799	1,164	17.5%	108.3%	108.3%
特別損益	-640	-906	-688	218	—	—	—
当期純利益	3,346	3,572	4,690	1,118	31.3%	117.3%	117.3%
自己資本比率	57.6%	58.6%	60.5%				
ROE	4.6%	4.6%	5.9%				

※当社の連結子会社は44社(H26末比+1社)、持分法適用会社は3社(H26末比±0社)となっております。

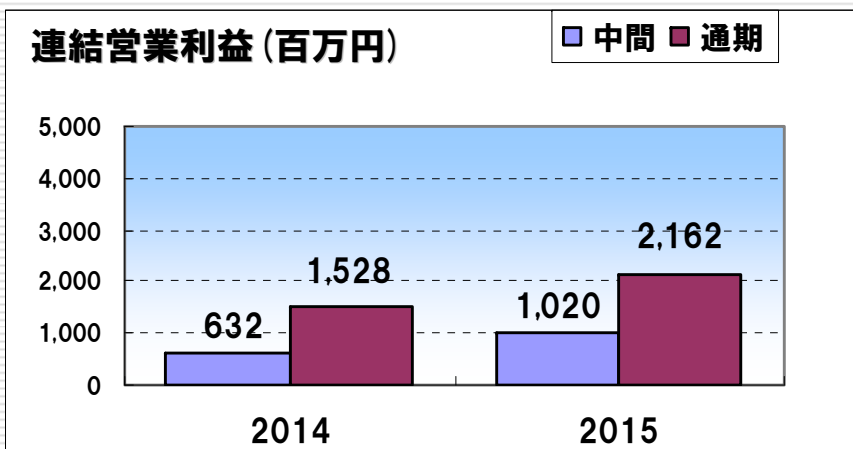
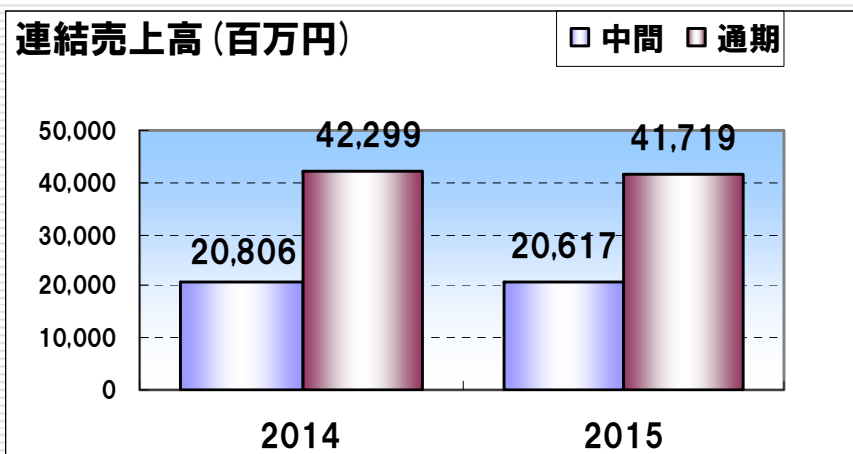
【業績概要】

2015年11月期の連結業績は前期比増収増益。営業利益は全事業部で前期を上回り、売上高、当期純利益は過去最高となった。また売上高・利益とも中期計画最終年度の目標数値を達成した。

2. セグメント別業績の概要について

		第184期 (14.11実績) (百万円)	第185期 (15.11実績) (百万円)	前期比	
				(百万円)	増減(%)
衣料繊維事業	売上高	42,299	41,719	-579	-1.4%
	営業利益	1,528	2,162	633	41.5%
	(営業利益率)	3.6%	5.2%	1.6%	-
産業機材事業	売上高	19,701	19,099	-601	-3.1%
	営業利益	777	877	100	12.9%
	(営業利益率)	3.9%	4.6%	0.6%	-
人とみらい開発事業	売上高	14,674	14,847	173	1.2%
	営業利益	4,511	5,012	500	11.1%
	(営業利益率)	30.7%	33.8%	3.0%	-
コンシューマー事業	売上高	23,802	27,186	3,384	14.2%
	営業利益	778	931	152	19.6%
	(営業利益率)	3.3%	3.4%	0.2%	-
その他調整額	営業利益	-1,567	-1,641	-74	4.7%
合計	売上高	100,477	102,854	2,377	2.4%
	営業利益	6,028	7,342	1,313	21.8%
	(営業利益率)	6.0%	7.1%	1.1%	-

3. 衣料繊維事業の概況



第185期通期累計

売上高 41,719百万円(前期比 1.4%減↓)

営業利益 2,162百万円(前期比41.5%増↑)

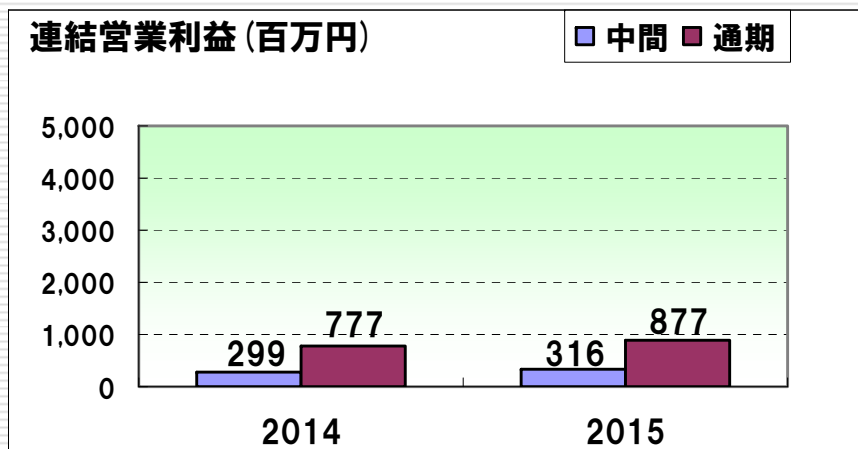
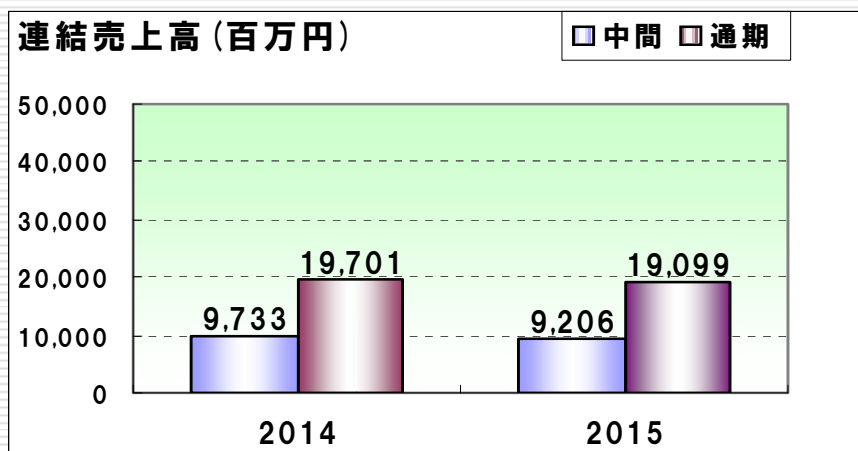
業績概要

カタログ販売事業からの撤退や商品数の絞り込みを実施するも、生産体制の再構築や、高機能素材の販売増加が貢献し、前期比では減収増益となりました。

アイテム動向

- ・一般企業制服用素材
接客服の復活・更改需要が増加
- ・官公庁制服用素材
消防向け制服の需要が増加

4. 産業機材事業の概況



第185期通期累計

売上高 19,099百万円(前期比 3.1%減↓)

営業利益 877百万円(前期比12.9%増↑)

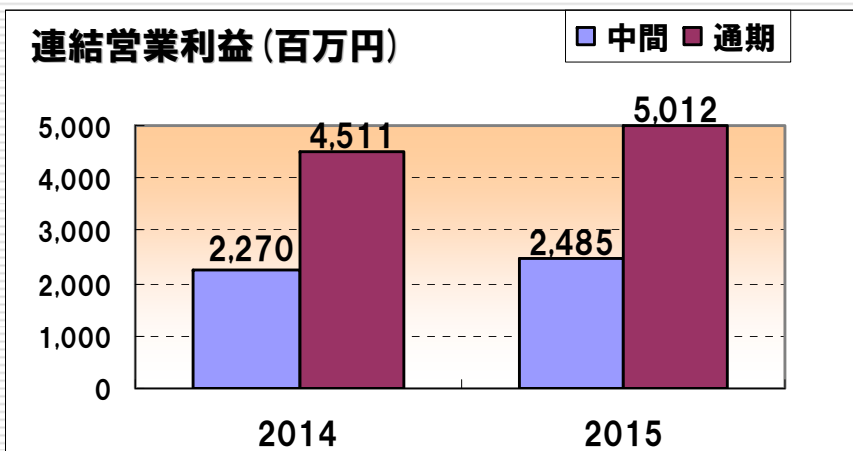
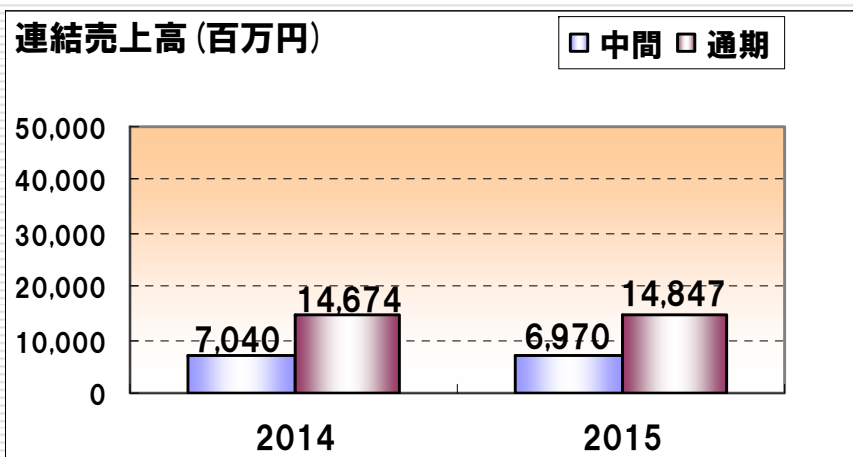
業績概要

原料費の高騰や空気清浄機用フィルターが苦戦するも、テニスガットの販売が好調だった事や生産効率の改善等が寄与し、前期比では減収増益となりました。

アイテム動向

- ・産業用資材
市況の影響等で自動車用資材が苦戦
- ・産業用機械
下期からFA事業の受注が増加

5. 人とみらい開発事業の概況



第185期通期累計

売上高 14,847百万円(前期比 1.2%増↑)

営業利益 5,012百万円(前期比11.1%増↑)

業績概要

全般的に各事業とも堅調に推移した事に加え、コスト削減等も寄与し、前期比では増収増益となりました。

アイテム動向

・介護関連事業

日本パムコ(株)が連結対象となった事に加え、既存施設でも利用者数増加

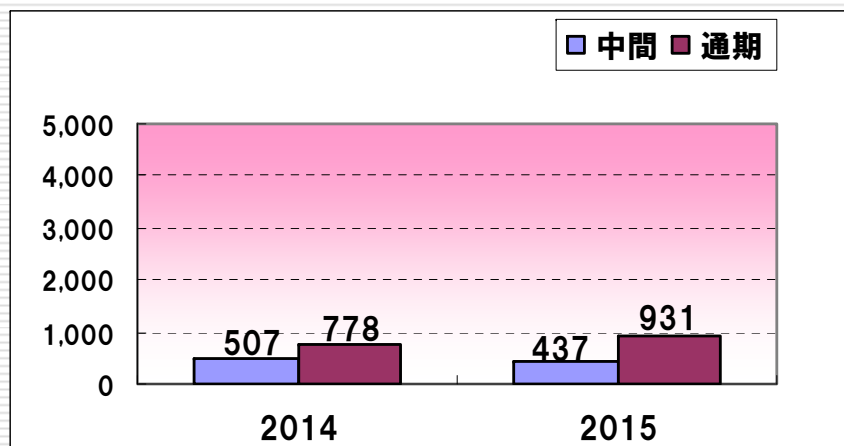
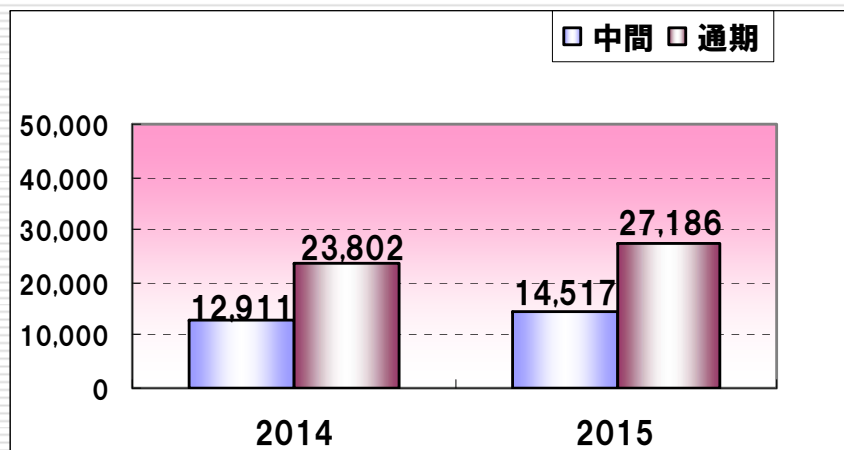
・スポーツ事業

ゴルフ、テニス事業共に利用者数増加

連結売上高(百万円)

連結営業利益(百万円)

6. コンシューマー事業の概況



第185期通期累計

売上高 27,186百万円(前期比14.2%増↑)

営業利益 931百万円(前期比19.6%増↑)

業績概要

新規連結対象となった(株)ナイスデイの業績が貢献した事や、コンテナの輸入設置事業が好調に推移した事等が寄与し、前期比では増収増益となりました。

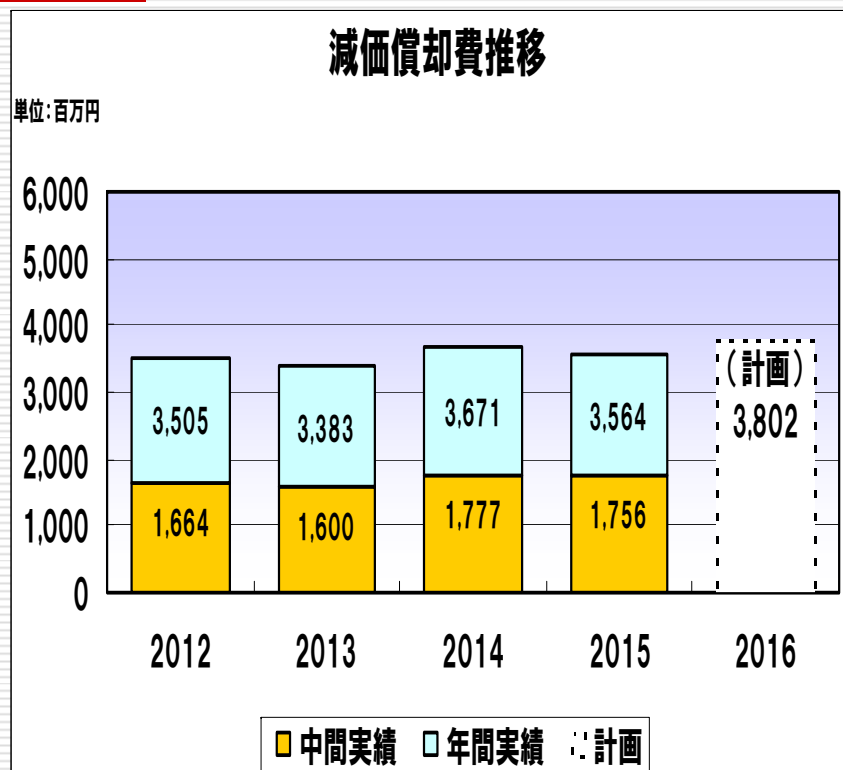
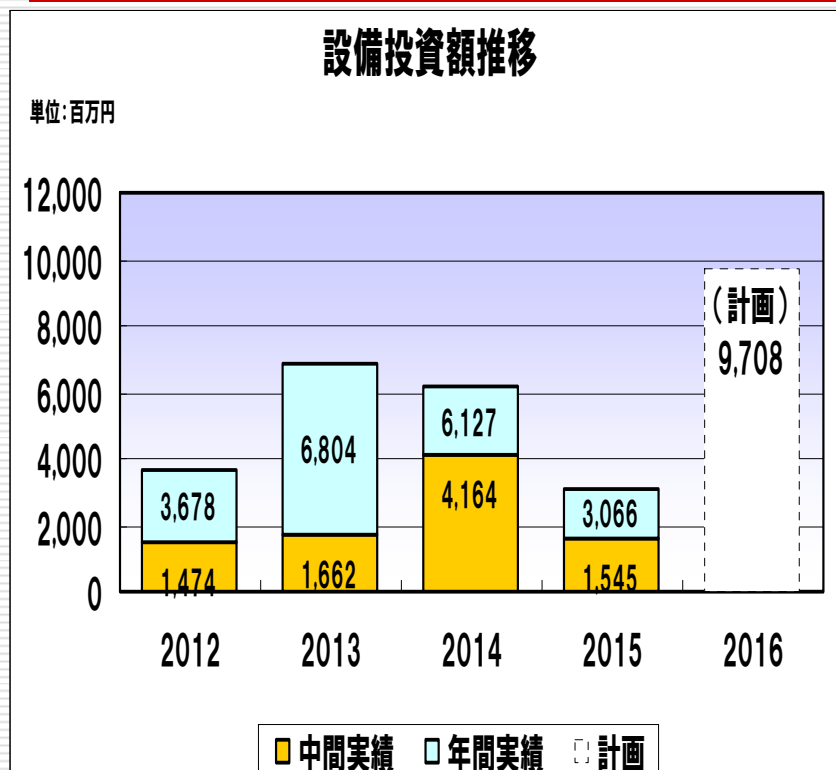
アイテム動向

- ・通信事業
市場活性化も販促費等が高み減益
- ・ホビークラフト用インク事業
海外向け販売が好調

7.連結B/S・連結C/F (単位：百万円)

連結貸借対照表	14.11末	15.11末	増減
流動資産	66,881	65,366	-1,515
固定資産	67,057	68,229	1,172
有形固定資産	41,096	39,599	-1,496
無形固定資産	858	1,035	176
投資その他の資産	25,102	27,594	2,492
資産合計	133,938	133,595	-343
流動負債	33,430	33,784	353
有利子負債	12,409	13,735	1,325
固定負債	21,066	18,003	-3,062
有利子負債	5,339	3,144	-2,194
負債合計	54,496	51,787	-2,708
株主資本	72,962	73,378	416
資本金	6,465	6,465	-
資本剰余金	4,543	4,543	0
利益剰余金	69,582	72,004	2,422
自己株式	-7,629	-9,635	-2,006
その他包括利益累計額	5,526	7,432	1,905
少数株主持分	953	996	43
純資産合計	79,442	81,807	2,365
負債・純資産合計	133,938	133,595	-343
連結キャッシュフロー計算書(要旨)	14.11末	15.11末	増減
営業活動によるキャッシュフロー	12,146	6,845	-5,300
投資活動によるキャッシュフロー	-4,061	-2,324	1,736
財務活動によるキャッシュフロー	-5,334	-4,909	424
現金及び現金同等物の増減額等	2,936	-237	-3,173
現金及び現金同等物の期末残高	14,923	14,686	-237

8.設備投資・減価償却費の推移



【設備投資概要】

主な設備投資実績(資産計上)は、新倉庫建設で約3.7億円、加古川クリニックモール新築で約2.9億円、ソーラー関連で約2.8億円等。当期は合計約30.7億円の設備投資を実施。なお、第186期は約97億円の設備投資を予定。

9. 2016年11月期(第186期)連結業績予想

2016年11月期(第186期)の連結業績は、次期以降の拡大への投資の影響により、増収減益予想

	第185期 (15.11実績) (百万円)	第186期 (16.11計画) (百万円)	前期比	
			(百万円)	増減(%)
売上高	102,854	103,000	146	0.1%
営業利益	7,342	6,500	-842	-11.5%
(営業利益率)	7.1%	6.3%	-0.8%	-
経常利益	7,799	6,800	-999	-12.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,690	4,400	-290	-6.2%

【連結業績予想】

2016年11月期は、衣料繊維事業と産業機材事業では増益予想としているが、人とみらい開発事業において、次期以降の拡大への投資として、ショッピングセンターのリニューアルや新規事業投資、長期修繕等を見込んでおり、この影響で連結業績は、利益面で減益の予想としている。

10. 2016年11月期(第186期)セグメント別業績予想

		第185期 (15.11実績) (百万円) 新セグメントベース	第186期 (16.11計画) (百万円)	前期比	
				(百万円)	増減(%)
衣料繊維事業	売上高	42,248	40,000	-2,248	-5.3%
	営業利益	2,162	2,500	338	15.6%
	(営業利益率)	5.1%	6.3%	1.1%	-
産業機材事業	売上高	19,573	20,300	727	3.7%
	営業利益	877	1,100	223	25.4%
	(営業利益率)	4.5%	5.4%	0.9%	-
人とみらい開発事業(※)	売上高	34,108	35,000	892	2.6%
	営業利益	5,464	4,230	-1,234	-22.6%
	(営業利益率)	16.0%	12.1%	-3.9%	-
生活流通事業(※) (旧コンシューマー事業)	売上高	9,616	10,500	884	9.2%
	営業利益	478	480	2	0.4%
	(営業利益率)	5.0%	4.6%	-0.4%	-
その他調整額	売上高	-2,691	-2,800	-109	4.1%
	営業利益	-1,641	-1,810	-169	10.3%
合計	売上高	102,854	103,000	254	0.1%
	営業利益	7,342	6,500	-841	-11.5%
	(営業利益率)	7.1%	6.3%	-0.8%	-

※第186期からはコンシューマー事業本部は生活流通事業部に名称を変更し、コンシューマー事業本部の通信・新規サービス事業は人とみらい開発事業本部へ移管した新セグメントとなります。
なお、第185期実績は新セグメントベースに置き換えた数値を参考値として記載しております。

注)上記売上高には、セグメント間の売上高を含みます。

11. 衣料繊維事業の重点施策

業績予想

売上高	40,000百万円	(前期比	5.3%減↓)
営業利益	2,500百万円	(前期比	15.6%増↑)

2016年11月期(第186期)の重点施策

①ニッケ独自の「売れる」商品の開発

ニッケの技術を活かし、国内外の顧客ニーズをとらえた先端素材やハイブリッド素材の開発に取り組む。

②高収益事業の拡大と新規市場の創造

再編した価値連鎖(バリュー・チェーン)体制により、より強固な競争優位性の確立で収益力を維持・拡大するとともに、新素材分野やグローバル市場展開に積極的に取り組む

12. 産業機材事業の重点施策

業績予想

売上高	20,300百万円(前期比	3.7%増↑)
営業利益	1,100百万円(前期比	25.4%増↑)

2016年11月期(第186期)の重点施策

①事業拡大への取組み

成長分野への投資による事業拡大、海外需要の開拓に取り組む。

②独自性のある商品開発

顧客ニーズを捉える事により独自性のある商品開発を行い、自らのポジションの確立を行う。

13. 人とみらい開発事業の重点施策

業績予想

売上高	35,000百万円(前期比	2.6%増↑)
営業利益	4,230百万円(前期比	22.6%減↓)

2016年11月期(第186期)の重点施策

①所有不動産の収益強化

不動産賃貸事業等においては、投資効率等を重視し、所有不動産の収益強化に取り組む。

②地域密着型の施設展開による事業拡大

ショッピングセンター事業では地域密着型ショッピングセンターを目指しニッケパークタウンの大規模リニューアルを実施、介護事業やキッズランド事業などにおいても積極的な施設展開を行い事業拡大に取り組む。

14. 生活流通事業の重点施策

業績予想

売上高 10,500百万円(前期比 9.2%増↑)
営業利益 480百万円(前期比 0.4%増↑)

2016年11月期(第186期)の重点施策

①安定した収益確保の追求

生活者に近いところでニッチな事業を推進し、豊かな生活を提案していくことにより、安定した収益確保を追求する。

②事業規模の拡大、新規事業へのチャレンジ

グループ会社間の連携による新しい価値の創造、M&Aによる事業規模の拡大、新規事業へのチャレンジに取り組む。

II. 資本政策・株主還元方針

15.資本政策・株主還元について

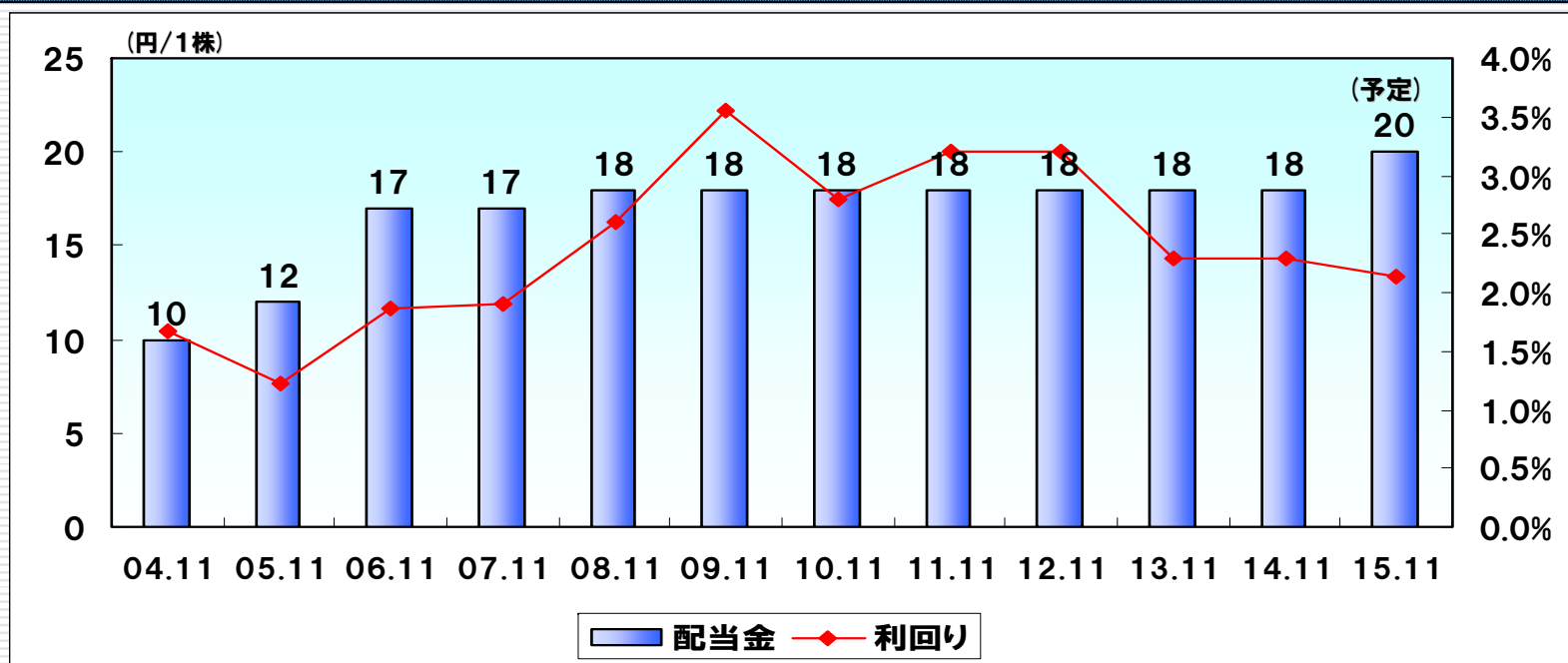
資本政策については、成長投資と安定的な株主還元のバランスを志向いたします。

成長投資については、研究開発投資、M&A投資、設備投資、人財投資など、中長期的な企業価値の向上の観点から積極的に実行してまいります。

株主還元は、利益水準に応じて持続的に配当水準を引き上げていくことを基本方針とし、自己株式取得を含む総合的な株主還元を充実させてまいります。

16.配当推移

2015年11月期は1株につき2円増配し、1株あたり20円を予定



	04.11	05.11	06.11	07.11	08.11	09.11	10.11	11.11	12.11	13.11	14.11	15.11
配当性向	26.3%	26.7%	33.8%	32.0%	36.6%	181.9%	67.1%	44.9%	41.9%	40.8%	38.2%	32.2%
総還元性向	35.2%	22.7%	35.9%	33.8%	68.6%	212.0%	115.0%	113.7%	43.9%	41.4%	38.5%	74.5%

※東証1部全銘柄(加重)の平均配当利回りは1.5%程度となっております。

Ⅲ. ニッケグループ中長期ビジョン (RN130ビジョン)

17. ニッケグループ中長期ビジョン —経営理念・経営方針— (RN130ビジョン)

<経営理念>

- ・人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、わたしたちは情熱と誇りをもってチャレンジして行きます。
- ・未開の分野に目を向け、「高機能商品」「地域NO.1サービス」の開発と提供へ挑戦し、みらい創造企業を目指します。

<経営方針>

- ・「全員がチャレンジ精神を持ち」「人が育つ」、生命力あふれた会社を目指します。
- ・お客様の声と研究開発から、独自性のある商品・サービスで市場を創造します。
- ・常に未来を見つめ、グローバルな視点に立ち、世界に広がるお客様と社会の発展に貢献します。
- ・多くの市場で勝ち抜くために、広く人財を求め、多様な「知」を結集して、事業を革新・発展させます。
- ・お客様や株主様、社員、取引先、地域社会をはじめとした様々なステークホルダーとの永続的な信頼関係を築くことにより、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指します。

18. ニッケグループ中長期ビジョン –RN130ビジョンとは– (RN130ビジョン)

**RN130ビジョンは、今後10年間のニッケグループの
目指す方向性、企業像、経営戦略を再構築し、
中長期的な企業価値の向上を目指していくものです。**

**このビジョンを具現化していくためのフェーズ1と位
置付けられる、2017年度(平成29年度)を初年度
とした「RN130第一次中期経営計画(3ヶ年)」の
策定に着手致します。**

19. ニッケグループ中長期ビジョン —経営戦略— (RN130ビジョン)

<経営戦略>

- ①未開の分野に目を向け、技術とサービスを磨くことにより、オンリーワンの地位を築き、安定した収益を確保します。
- ②事業領域をその成長段階に分け、最適な事業ポートフォリオを組み立てます。

<収益強化事業>

再編・効率化、高付加価値化・差別化による付加価値向上により収益を強化していく

<成長事業>

更なる成長に向け、重点的に投資を行う

<安定収益事業>

高収益を維持しながら着実な成長を目指す

20. ニッケグループ中長期ビジョン —事業領域— (RN130ビジョン)



事業領域については、現行の4事業領域が事業戦略・シナジー発揮において最も事業価値を生み出せる括りと考えております。各事業とも「VOC」※を戦略化し事業展開を図り、単なる「プロダクトアウト」から「マーケットイン」活動へ進めていきます。

※VOC(Voice of Customer)

「VOC(Voice Of Customer)」とは、企業活動において仮説をもって、顧客の要求・見方、競合他社や新規参入者の活動、市場の変化などを継続的に追跡・検証し、業績を向上させることと考えます。

21. ニッケグループ中長期ビジョン —事業戦略— (RN130ビジョン)

<衣料繊維事業>

- ①ニッケの技術を生かした顧客ニーズに刺さるウール由来の先端素材やハイブリッド素材の開発に取り組んでいきます。
- ②顧客ニーズを捉えた開発を進めていくため、国内・海外でVOCを徹底します。
- ③各事業は、商社機能を強化し、川下への展開をはかることで、収益力を向上させます。
- ④ユニフォームの海外展開ならびに機能素材のグローバル展開を積極的に進めます。

<産業機材事業>

- ①事業の中核をニッチ分野におき、成長が見込める東南アジア、北米等で販路を拡大していきます。
- ②グループ会社は多様なアイテムや商流を持ちますが、インフラの共同利用や技術開発、人財交流、商流簡素化、各種情報の共有等の連携を進め、ビジネス拡大をはかります。

<人とみらい開発事業>

- ①地域のニーズを捉え、具現化し、地域に住む人々の生活や心に元気、豊かさ、幸せを提供し、未来を創り出していきます。
- ②事業本部内での相互関係を強化し、「街づくり」「拠点開発」の選択肢を広げていきます。
- ③グループ全体にわたり所有する資産を管理し、その資産全体の利用において最大収益を産み出し、ひいては資産価値の最大化を実現してまいります。

<生活流通事業>

- ①既存事業の枠に捉われず、自由な発想で新規事業を発掘、開拓し、異業種分野にも積極的に参入していきます。
- ②川上から川下までのすべての領域で将来性、社会貢献性の高い事業を広範囲に取り扱う事業を目指します。

22. ニッケグループ中長期ビジョン —総合力の発揮①— (RN130ビジョン)

人財戦略

<グループ人事施策>

「グループ内の人的資源の最大活用によるシナジー効果の創出」を目指します。

- ・グループ横断的キャリア形成の促進による人財育成
- ・グループ横断的な適材適所の人財配置
- ・グループ会社社長に対する業績連動型報酬制度

<ビジネスリーダーの育成>

成長へのチャレンジ、変革へのチャレンジを通じて新しい顧客価値を創造するビジネスリーダーを育成します。

ブランド戦略

<ブランド発信>

商品・サービスの魅力アップがブランド力アップに繋がると考え、各事業領域、各社がブランド発信を担います。また、「シナジー効果」と「グループ意識」を高めるため、インナーブランディングにも力を入れてまいります。



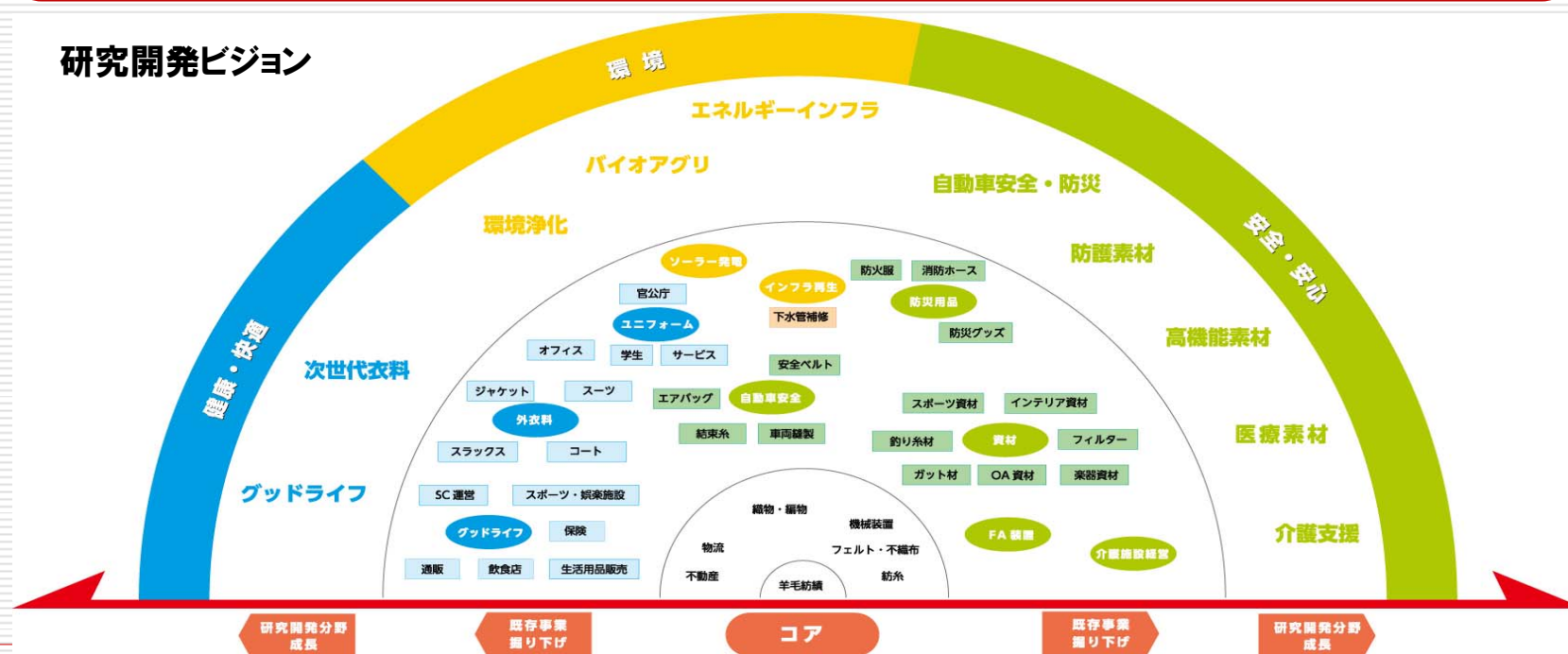
23. ニッケグループ中長期ビジョン —総合力の発揮②— (RN130ビジョン)

研究開発戦略

<研究開発の方向性>

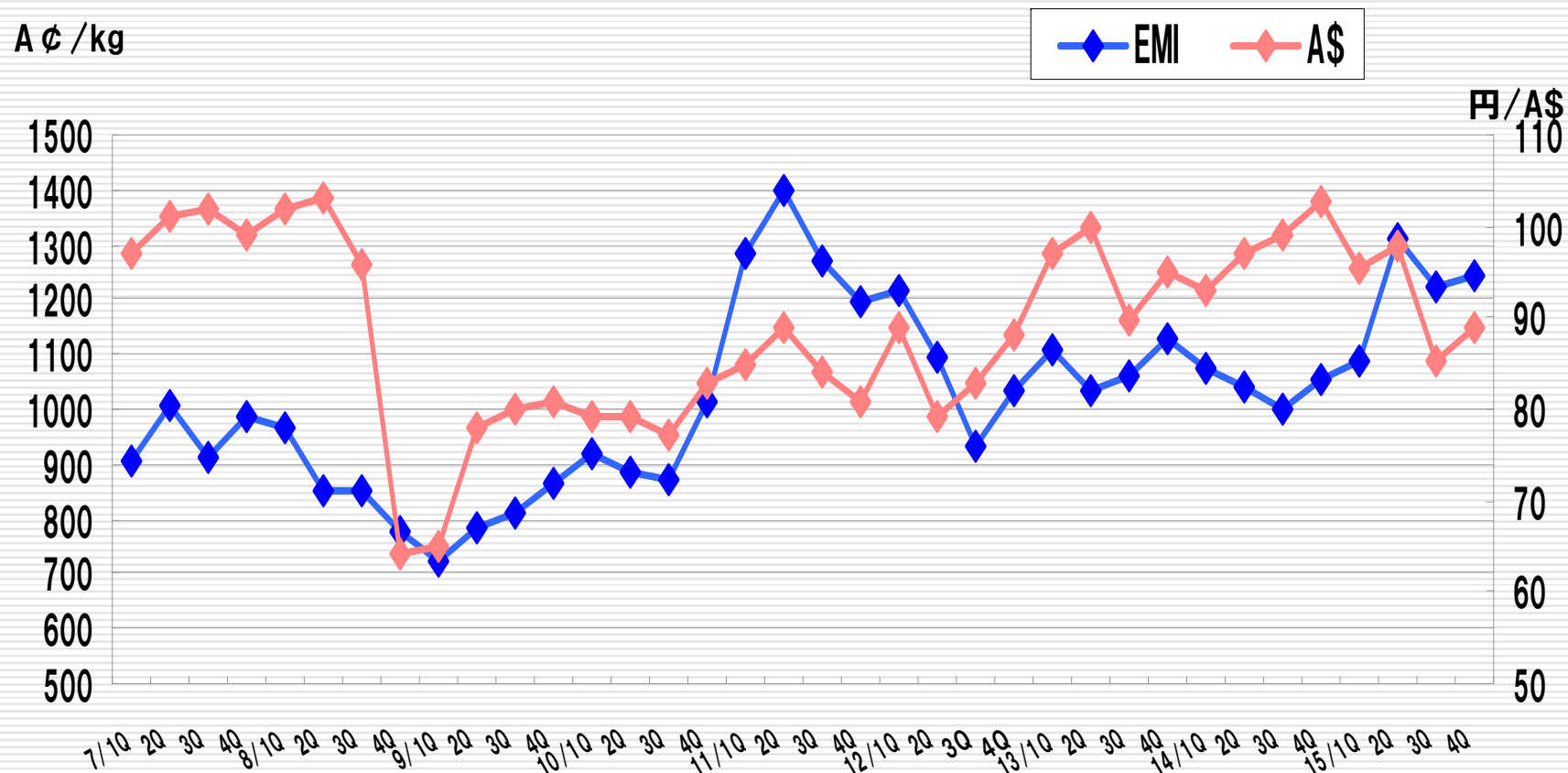
グループ各社が展開する領域の、更に一步先にある成長分野を研究開発領域とし、「健康・快適」「環境」「安全・安心」を軸に、新たなテーマ発掘と商品・素材・サービス・技術の開発を進めてまいります。

研究開発ビジョン



参 考 資 料

(参考) 羊毛相場・為替相場の推移について



(参考) 重要な子会社の状況

●衣料繊維事業

(株)ナカヒロ(大阪市中央区)、アカツキ商事(株)(東京都墨田区)、佐藤産業(株)(東京都千代田区)、大成毛織(株)(愛知県一宮市)、ニッケテキスタイル(株)(愛知県一宮市)、(株)ニッケファブリック(愛知県一宮市)、青島日毛織物有限公司(中国山東省)、江陰日毛紡績有限公司(中国江蘇省)

●産業機材事業

アンビック(株)(兵庫県姫路市)、(株)ゴーセン(大阪市西区)、(株)ニッケ機械製作所(兵庫県加古川市)

●人とみらい開発事業

ニッケ不動産(株)(神戸市中央区)、(株)ニッケ・ケアサービス(愛知県一宮市)、(株)ニッケインドアテニス(愛知県あま市)、(株)ニッケレジャーサービス(愛知県弥富市)、ニッケアウデオSAD(株)(大阪市中央区)

●生活流通事業

ニッケ商事(株)(大阪市中央区)、(株)双洋貿易(神戸市東灘区)、(株)友栄(大阪府枚方市)、(株)ツキネコ(東京都千代田区)

※当社の連結子会社は44社(H26末比+1社)、持分法適用会社は3社(H26末比±0社)となっております。

「ウールのニッケ」から“人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループ”へ

NIKKE
Group

本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画についての記述は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。



う～るん

IRに関するお問い合わせは…

ニッケ(日本毛織株式会社)

経営戦略センター総務法務広報室

TEL 06-6205-6601

ニッケグループHP <http://www.nikke.co.jp>

ニッケグループFB <http://www.facebook.com/nikke.group>